

第19回 カトリック新潟教区信徒大会

福音の喜び

イエスの喜びがわたしの喜びとなるように

基調講演／新潟教区 タルチシオ菊地功司教



開催日 2015年10月10日(土)・11日(日)
会場 ホテルシンフォニーアネックス
(山形県寒河江市)

第19回 カトリック新潟教区信徒大会のご案内

†主の平安

初夏の候、時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、「福音の喜び」をテーマに、今年10月10日(土)・11日(日)の両日にわたり開催される第19回カトリック新潟教区信徒大会の申し込みのご案内をいたします。

教皇フランシスコの使徒的勧告『福音の喜び』から、わたしたちに示された福音宣教の喜びと今年の年頭司牧書簡の優先的に取り組む課題を实践し、世代、国籍、文化、地域の垣根を越え新たな出会い、そして導きにより、ともに「喜び」を分かち合う大会にしていきたいと思います。

ご存じのように、山形県には新潟県や秋田県のようにカトリックの学校施設がありません。そのため、大人数に対応できるよう、今回の大会はホテルを会場に開催すべく準備を行っております。心と体を癒しに、温泉施設もある初秋の山形で行われる教区信徒大会へ、ぜひご参加ください。

2015年6月28日

カトリック山形教会「カトリック新潟教区信徒大会実行委員」

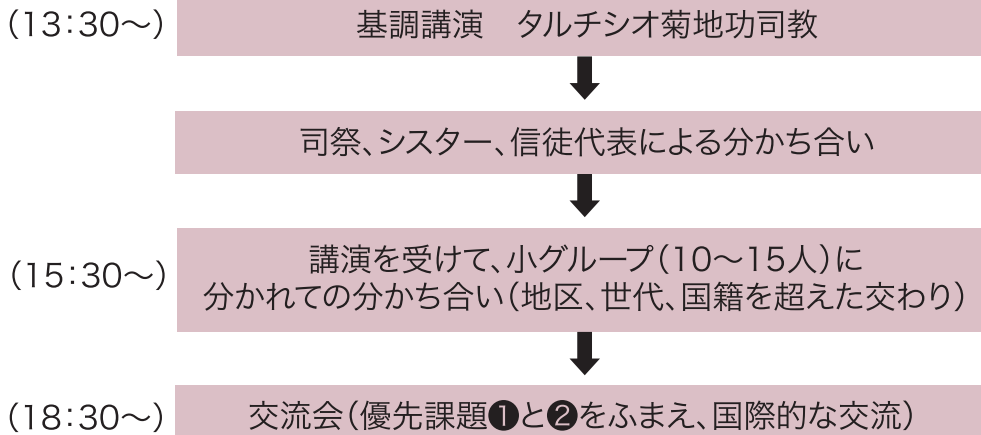
準備…教皇フランシスコの使徒的勧告『福音の喜び』の序文を事前に各教会で読んでおく
できるだけ参加前に各教会で分かち合いを行う

新潟教区の優先課題

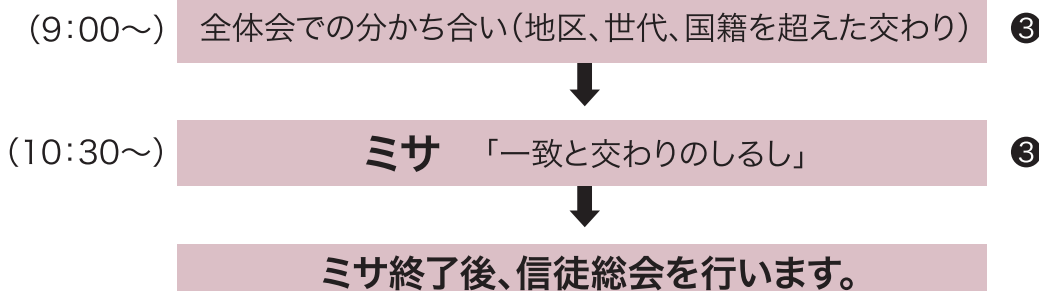
- ① 世代、国籍、文化の違いを乗り越え、喜びと思いやりにあふれた「私たちの教会」を育てる。
- ② 教区、地区、小教区において、お互いの情報を共有し交わりを深めることで、社会における教会の役割を自覚する。
- ③ 継続した信仰養成を充実させ、社会の現実のうちで言葉と行いを通じて福音を証しする信仰者へと脱皮する。

第19回 カトリック新潟教区信徒大会日程

10月10日(土)



10月11日(日)



大会中…会場には各地区のブースを設け地区の紹介や取り組みなどを展示する(パネル・教会報等)

信徒大会により深められた信仰…各教会へ後日発送し共有

分かち合いの心得(「聖書の集いガイド」より)

★「分かち合い」(原文は「聖書の集い」)が目指しているもの

- 1.わたしたちの現実の中で神がともにいてくださることを発見する
- 2.ともに信仰の道を歩む仲間作り
- 3.霊的成長

★気をつけるべきこと

「安心」ということは分かち合いが成り立つための前提条件です。

参加者が安心して分かち合いをすることができるために、次の点に注意します。

1. 集いの場で聞いたことを他の場で話さない

そこで話されたことが、他の場所で他の人に伝わるならば、だれも安心して話すことはできません。

「分かち合い」で聞いたことはわたしたち一人一人の胸の中に収めることを約束します。

言った本人に対しても、別の場で「あの時あなたはこう言いましたけれど…」というような言い方はすべきではありません。秘密を守ることができないグループは簡単に崩壊してしまいます。

2. 支配するのは神の霊

人が集まる場所に「人を支配したい」という誘惑が生まれます。

「教えない」「コントロールしたい」「自分が一番になりたい」その誘惑に打ち勝つことが必要です。

限られた人だけが長時間話すのも禁物です。司会者やグループの代表は、奉仕者であるという意識を徹底しなければなりません。

誰かが聖書の箇所について質問をしたとき、それについて知識を持っている人が教えることは簡単です。しかし解説を始めた瞬間に「分かち合い」は終わってしまいます。この点に注意が必要です。

何もすべてを理解する必要はないのです。話が途切れたとき、沈黙を埋めようとして話す必要もありません。

その時は、神が沈黙のうちにわたしたちに語っていることを聞けばよいのです。

なお、終了時間を守ることも大切です。

聖書の集いは、だれか人間が支配する場ではなく、すべての参加者が一人一人の心に働きかける聖霊の導きに従おうとする場なのです。

3. 相手を批判しない、議論しない

自分の発言が人から批判されると、ある場合には非常に傷つき、もう二度と話すまい、と思うようになります。

安心のためには「批判しない」という原則も大切です。大切なのは、人の言葉に耳を傾け、

人の思いをそのまま受け取ろうとすることです。わたしたちは議論するために集まっているのではなく、霊的に成長するために集まっているのです。

(以上、カトリック東京教区幸田和生司教様の「聖書の集いガイド」から引用しました。)





指定ホテル ホテルシンフォニーアネックス
〒991-0041 山形県寒河江市字久保11
TEL.0237-83-1222

宿泊 / 1泊・朝食付 7,170円(税込)



指定ホテル ホテルシンフォニー本館
〒991-0053 山形県寒河江市元町1-3-13
TEL.0237-86-2131

宿泊 / 1泊・朝食付 7,170円(税込)

秋の寒河江市周辺をお楽しみください。



9月下旬頃から始まる紅葉。月山は全山が錦の絨毯と化します。鮮烈な赤や黄色で織り成された紅葉の景色は、まさに天然の絵巻です。



左八楯山城から最上川を眺望できるビューポイント。西に朝日連峰、東に奥羽山脈が遠望できる「最上川舟歌」発祥地の美しい眺めです。



河北町の富豪だった堀米四郎兵衛の屋敷跡で、武器や生活用品、古代籾、および古文書など5000点を保存し、紅花染めも体験できます。



秋の山形の郷土料理の定番といえは「いも煮」。地域により材料や味付けも様々ですが、ここ村山地方は牛肉を使った醤油味が基本です。



コシの強い田舎そばに、鶏肉からダシをとった甘辛いタレをかけ、親鶏のチャーシューと小口に刻んだネギを載せるのが「谷地の肉そば」。



果樹生産が盛んな山形。ぶどうの王様といわれる「巨峰」をはじめ、「高尾」、「ピオーネ」、「安芸クィーン」、「デラウェア」など豊富な種類。

- 車** 新潟→7号線→胎内→113号線→南陽→13号線→山形→山形自動車道→寒河江ICまたは寒河江SAスマートIC (ETC専用・出入口あり)
秋田→7号線→酒田→山形自動車道→寒河江ICまたは寒河江SAスマートIC (ETC専用・出入口あり)
秋田→秋田自動車道→湯沢→13号線→新庄→13号線→東根→山形自動車道→寒河江ICまたは寒河江SAスマートIC (ETC専用・出入口あり)
- 電車** 新潟→羽越本線→坂町駅→米坂線→米沢駅→奥羽本線(山形新幹線)→山形駅→左沢線→寒河江駅
秋田→羽越本線→酒田駅→陸羽西線→新庄駅→奥羽本線(山形新幹線)→山形駅→左沢線→寒河江駅
秋田→奥羽本線(秋田新幹線)→横手駅→奥羽本線→新庄駅→奥羽本線(山形新幹線)→山形駅→左沢線→寒河江駅

※寒河江SAスマートICからETC専用出口をご利用いただくと便利です。なお、ETCが付いていない車は寒河江ICから矢印を参考にお出下さい。
※電車でお越しの方は12:21分寒河江駅着の車両に合わせ、ホテルまでの送迎のバスをご用意しておりますので、そのバスをご利用下さい。